



平成28年度 学校経営計画 那覇市立石嶺中学校

錬心

石嶺中学校は「深く考え心豊かに、たくましく生き抜く生徒の育成」のため、尊重(respect)・協働(share)・体験活動(experience)を実践します。

学校経営3つの理念

スピード感

学社融合

地域協働

主な教育活動の概要(2016年度)

1 特色ある取り組み

- 生徒指導・教育相談の充実
小動物との触れ合いを通じたアニマルセラピーの実践
- 食農教育の充実(教材園・熱帯果樹園等)
- 人権教育、平和教育の推進
- 地域連携事業の推進(旗頭・琉舞・空手等)
- サマースクールの充実(学校・保護者・地域)

2 教育環境の充実

- 学校・家庭・地域・関係機関が協働する学校づくりを推進する
- 確かな学力の定着と主体的な学習態度の育成を図る
- 地域の特性を生かした教育課程の編成を推進する

3 キャリア教育の視点を踏まえた学力向上の取組 今日的意義の共通理解と実践

- (生きる力の育成・後継者育成・社会の人材・街づくり)
- 家庭学習の習慣化と充実(授業との連動と点検活動)
(石嶺中学校家庭学習のルールと手引き配布)
- わかる授業の構築に向けた指導方法の工夫・改善
- 基礎・基本の定着、校内研修や公開授業の充実
- なりたい自分 になれる自分
- 奉仕、体験活動の充実
- 各種検定試験の推進
- 小中一貫教育の推進

4 生徒の学習・生活面等教育情報の積極的な提供

- 学校情報の配信・発行
・学校だより(錬心)、学年、学級便り等の発行、メールでの配信
・保健室、図書館、進路通信の発行
- ホームページによる情報発信(月1回更新)
- 地域の青少年健全育成団体との連携強化
- 中央児相、児童園、交番、保護司、民生委員、指導員、補導員等との連携

1 学校経営



経営目標

- ①学社融合・地域協働による組織的・機動的な学校運営体制を確立する。
- ②生徒一人ひとりに確かな学力の定着と、主体的な学習態度を育成する。

経営方針

- ① 教師個々が、生徒の教育に情熱を燃やし、自信と誇りを持ち、教師の個性が発揮される学校づくりを推進する。
- ②教職員・保護者・地域、関係機関等が連携を密にし、地域の特色を生かした創造的な学校づくりを推進する。
- ③生徒一人ひとりの可能性を引き出し、心の居場所や絆づくりを推進する。

経営の重点

1 授業改善・学力向上

授業公開(全教諭)
指導方法の工夫・改善の成果を共有し言語活動の充実を図る。

2 規律ある学校づくり

人権尊重の理念を実践に活かし、思いやりの心と規範意識の向上を図る。

3 居場所づくり・絆づくり

学校内外を問わず、文化・スポーツ等を体験させる機会をできる限り多く設定する。

推進体制

- 石嶺中学校 PTA
- 石嶺中学校学校評議委員会
- 石嶺公民館等

- 校内研修
- 生徒指導・教育相談
- 学力向上推進

- 青少協 ○公民館 ○石嶺交番
- 青年会 ○中央児相 ○関係機関

1 校内研修

担当 研究主任

2 学力向上・授業改善

担当 学推主任

3 指導法工夫・改善

数学科担当教諭

校長

指導・助言

連携

職員会議
(教務)

- △ 文部科学省
- △ 沖縄県教育委員会
- △ 那覇市教育委員会

- △ 小中一貫教育推進委員会
- △ 企画委員会
- △ 生徒支援委員会
- △ いじめ対策委員会
- △ 学校保健安全委員会
- △ 適正就学委員会
- △ 人権教育推進委員会
- △ 学力向上推進委員会
- △ キャリア教育推進委員会
- △ 体力向上推進委員会

2 規律ある学校づくり

生徒支援・教育相談

担当 生徒指導主事

教育相談担当教諭

生徒会担当教諭

3 居場所づくり・絆づくり

豊かな心の育成

担当 地域担当教諭

青少協担当教諭

特支コーディネーター担当教諭

2 「校内研修」「学力向上推進」具現化への取組

「生きる力」を育む学校づくり ～積極的な生徒支援に向けて・QUの活用を通して～

「生きる力」の具現化を図る具体的な取り組み

- 校内研修や公開授業及び学校教育活動全体を通して、学び合う場、発表の場を工夫することにより言語活動の充実を図る。
※「活用する力」をはぐくむ授業づくり
○生徒の実態把握の調査・分析・考察
○基本的な学習習慣の形成を図る指導方法の工夫・改善
○基礎的・基本的事項の定着を図る指導方法の工夫・改善
○わかる授業の構築に向けた指導方法の工夫・改善



校庭の桜



校内研修

- 「確かな学力の定着」「豊かな人間性の育成」「健康・体力の向上」や「基本的な生活習慣の形成」に係る取組の充実を図る。
○読み、書き、計算の力を育成する指導（漢検・数検・英検の推進）
○生徒の実態に応じた補足的な指導（学習支援ボランティア等の活用）
○人とのかかわる体験活動の充実（言語活動の充実）
○言葉による伝え合う力の育成（言語活動の充実）
○保健・安全、食育に対する指導



先輩に学ぶ

- 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」を積極的に推進するため、一人ひとりの個性を尊重し、「体験活動」を充実させる。
○外部講師との連携による夏休みサマースクール等の実施
○職場体験学習など、キャリア教育の充実
○食農教育の推進（作物栽培 総合学習、技術科と連動）
○表現活動の充実（琉舞、ダンス、合唱、造形等）
○地域行事等への積極的な参加（首里王朝祭や福祉祭、ハーリー等）
○小動物の飼育活動等を通じたアニマルセラピーの充実



地域行事(那覇ハーリー)

- 健康で安心、安全な教育環境の下で、保護者、地域、各関係機関と連携した積極的な教育活動を展開する。
○保護者、地域と連携した生徒指導、教育相談体制の確立
○学校評議員や保護者からの積極的な意見・提言の聴取
○学校施設の積極的な開放と公民館、老人会、婦人会、青年会、各関係機関等との交流促進
○夜間街頭指導の強化と充実



青少協石嶺フェスタ

教育環境の整備

・「チャイム席」と「授業開始の黙想」・「ノート指導の充実」・「早寝・早起き・朝ごはん」の奨励

3 石嶺中学校 生徒の「居場所づくり」と「絆づくり」



お菓子作り



合唱コンクール



動物との触れ合い



福祉体験学習



学級花壇コンクール



熱帯果樹栽培

4 28年度主な行事



中体連夏季総体



校内陸上大会



地域協働で取り組む石嶺中旗頭

5 各教科のマニフェスト

国語	・到達度テストで那覇市の平均正答率を上回ることを目指す。 ・定期テストで60%程度の正答率を目標に既習事項の定着を図る。
社会	・9割以上の生徒が課題プリント・レポートの提出を目指す。 ・定期テストで60%以上の正答率を目標に基礎的・基本的内容の定着を図る。 ・到達度テストでは、正答率で県平均3ポイント以上を目指す。
数学	・授業での発表の場を設定し、言語活動の充実を図る。 ・基礎的・基本的な知識・技能を活用する力と定期テスト等で6割以上の生徒の正答率60%を目標にし、基礎的・基本的内容の定着を図る。 ・到達度・全国学力・学習状況調査で市県平均を上回る。
理科	・定期テストで平均60点以上を目標に、基礎的基本的内容の定着を図る。 ・自由研究の取り組みを活性化させる。提出率8割以上を達成させる。 ・達成度テストでは、県平均・市平均を上回る。
英語	・自分や身近な人物、物事を紹介する文5～8文程度書ける。（1年） ・行った場所やそこでの出来事を順序立てて8文以上書ける。（2年） ・あるテーマについて賛成、反対の意見を理由も含め8文以上書ける。（3年）
音楽	・発声練習を継続させ響きある声、合唱作りを目指す。 ・リコーダーは8割以上の生徒が、課題の曲を演奏できるようにする。 ・鑑賞の基礎基本の定着を図る。
美術	・表現、鑑賞の基礎基本の確実な定着を図る。 ・作品を大切に作る心を育てる。 ・9割以上の生徒が作品を完成できるよう支援する。
体育	・7割以上の生徒に水泳25m以上を泳げるようにする。 ・生徒の持久力を向上させる。 ・機敏な集合・整列ができるようにする。
技家	・作品の完成90%の完成を目指す。 ・基礎的・基本的事項の定着を図る。 ・家庭分野・技術分野共にノートや提出課題の達成率75%以上を目指す。